

## 事業所自己評価シート

## 職員による自己評価

## 保護者による評価

## A環境面

静養室など機能ごとのスペースは用意されている。  
用意したスペースをうまく使えていないと感じる。

## B児童への支援内容

利用者や保護者のニーズに合わせた支援を計画を心がけているが、保護者の方との話し合いや情報共有などが不十分だと感じることもある。

## C関係機関との連携

各学校や他の支援事業所との情報交換を行っている。連携が取れている場所とそうでない場所に差がある。

## D保護者への説明責任・信頼関係

日々の活動を HP で運動療育の様子を月に写真に載せて知らせている。

## E非常対応

避難訓練を実施しているが、利用している児童すべて（利用頻度が少ない児童など）には行えていない。

適切な誘導方法やどのように地域の方のご理解を得るかなど問題点がある。

## A環境面

クールダウンできる場所が欲しいと感じる。人数に対してスペースが狭いと感じる。送迎に添乗がないことがある。

## B児童への支援内容

活動プログラムでは様々な体験をさせてくれている。（障害のない児童との交流について）無理のない範囲で構わないと感じる。

## C事業所からの情報発信

保護者会があれば良いと思う。  
（面談や保護者への助言について）もっと職員と話す機会が増えればサポートしやすくなるのではないかな。  
写真付きの HP は活動の様子がわかって良い。  
自己評価などは開示されているかわからない。

## D非常対応

マニュアルが確認できると安心だと思う。災害時どこへ避難するのか、どこへ連絡すれば良いのか、がわからない。

避難訓練が実施されているのかわからない。実施されているのならどこでそのことを確認できるのかわからない。

## 事業所内での分析

## 【共通点】

- ・活動スペースの広さや機能（静養室など）を活用できていないという認識。
- ・保護者の方への情報発信、また情報共有が不十分であるという認識。
- ・非常時の対応について準備が不十分であるという認識。
- ・活動プログラムや支援についてある程度満足をしていただけている。

## 【相違点】

- ・災害時のマニュアル（もしくは対応）を保護者の方へ提示することの重要さへの認識。
- ・避難訓練の実施が保護者の方に伝わっていない。（周知が出来ていなかった）

## 分析・検討してみて…

### 事業所の強み

- ・活動プログラム（運動療育・創作・食材レクなど）で様々な体験を提供できる。
- ・HPなどで日々の活動の様子を知ることができる。

### 事業所の改善点

- ・保護者の方との情報交換の機会が少ない。
- ・災害時の対応について不十分。また情報が周知されていない。
- ・静養室などの機能を適切に運用する。

### 事業所の改善への取り組み

- ・災害時の対応について見直し、準備の強化。
- ・活動の様子だけでなく避難訓練や研修の実施など保護者の方の安心につながる情報を積極的に発信する。
- ・保護者会や保護者の方が参加できるイベントを実施し、スタッフと保護者、保護者と保護者の接点を増やす。
- ・活動スペースについて広く使う（児童が集中しない）工夫、静養室の活用。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

問題点を明らかにすることでの今後の方向性を確認・スタッフ間で共有することができた。また思いがけず良い評価をいただけたものもあり、これまでの活動を振り返ることができた。

事業所名 RISE 児童デイサービス港南台キッズ

担当者 関 泰幸